

S T O P !! 特殊詐欺

～NATS（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市）が金融庁に要望書を提出～

令和 6 年 5 月 2 3 日（木）、西宮市、尼崎市、豊中市及び吹田市の連担する中核市である 4 市（NATS※）は、金融庁に対し、特殊詐欺被害防止に有効な手段として、全国の金融機関による ATM の利用制限の厳格化などを求める要望書を提出しました。

NATS では、特殊詐欺による被害が、集中的かつ継続的に発生しており、極めて深刻な状況にあることから、これまでも市民を守るために意欲的な防止対策を講じています。（参考資料参照）

しかし、特殊詐欺犯罪は、被害者と犯罪者との接点となる ATM の利用を特徴とすることから、その抑止力をさらに高めるためには、金融機関自らが実施する対策が必要不可欠です。金融機関による ATM の技術的な安全対策をさらに強化する必要性について、改めて金融機関への指導・誘導を求め、4 市を代表して吹田市長が金融庁を訪問し、同庁監督局長に対して要望書（別紙参照）を手渡し、同局長も特殊詐欺を許さない気持ちは同じと応えました。

（※大都市周辺で連担する中核市で構成。NATS は、各市のアルファベットの頭文字であり、圏域は 172 万人の人口を擁し、府県の枠を超えて行政連携を深めている。）

【要望内容】

- 1 ATM 利用に係る年齢や、1 日の出金・振込額の制限などの基準を厳格化し、広く公表すること。
- 2 特殊詐欺被害防止対策に関する自治体の取組への積極的な協力を行うこと。

【別紙】

西 地 コ 発 第 7 号
尼 生 安 第 1 8 3 号
豊 市 支 第 2 0 0 号
6 吹 総 危 第 3 3 6 号
令和 6 年 5 月 2 3 日

金融庁監督局長 様

N A T S 連 携 中 核 市

西宮市長	石井 登志郎
尼崎市長	松本 眞
豊中市長	長内 繁樹
吹田市長	後藤 圭二

金融機関に対する特殊詐欺防止の協力要請（要望）

未だ治まる気配のない特殊詐欺犯罪において、その被害が集中的かつ継続的に発生し、極めて深刻な状況にある大都市近郊の4自治体は、市民を守るために連携して意欲的な防止対策を講じているところです。

しかし、その抑止力を効果的に高めるためには、金融機関自らが実施する対策が不可欠であり、金融庁におかれましては、これまで金融機関への協力依頼を行ってこられました。その上で、当該犯罪が被害者と犯罪者との接点となるATMを利用することを特徴とすることから、市民の利便性確保の重要性に鑑みても、なお、ATMの設置管理者による当該機器の技術的安全対策をさらに強化する必要がある旨を改めて金融機関に周知徹底して頂きたいと存じます。

つきましては、金融機関を所管する貴庁におかれましては、特殊詐欺犯罪から国民を守る有効な手段として、社会的責任を果たすべき全国金融機関に対して、下記のとおりATM利用に関する効果的な制限等の実施について、さらなる指導誘導を行っていただくよう要望いたします。

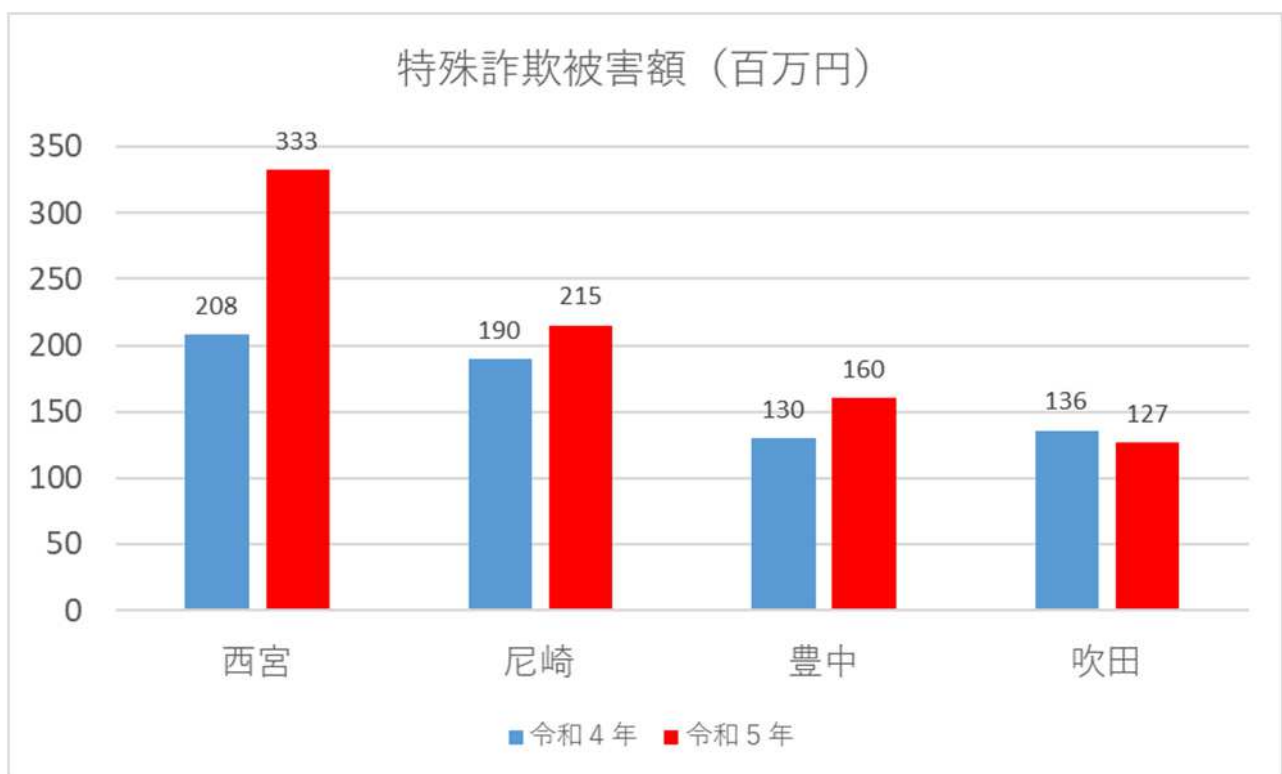
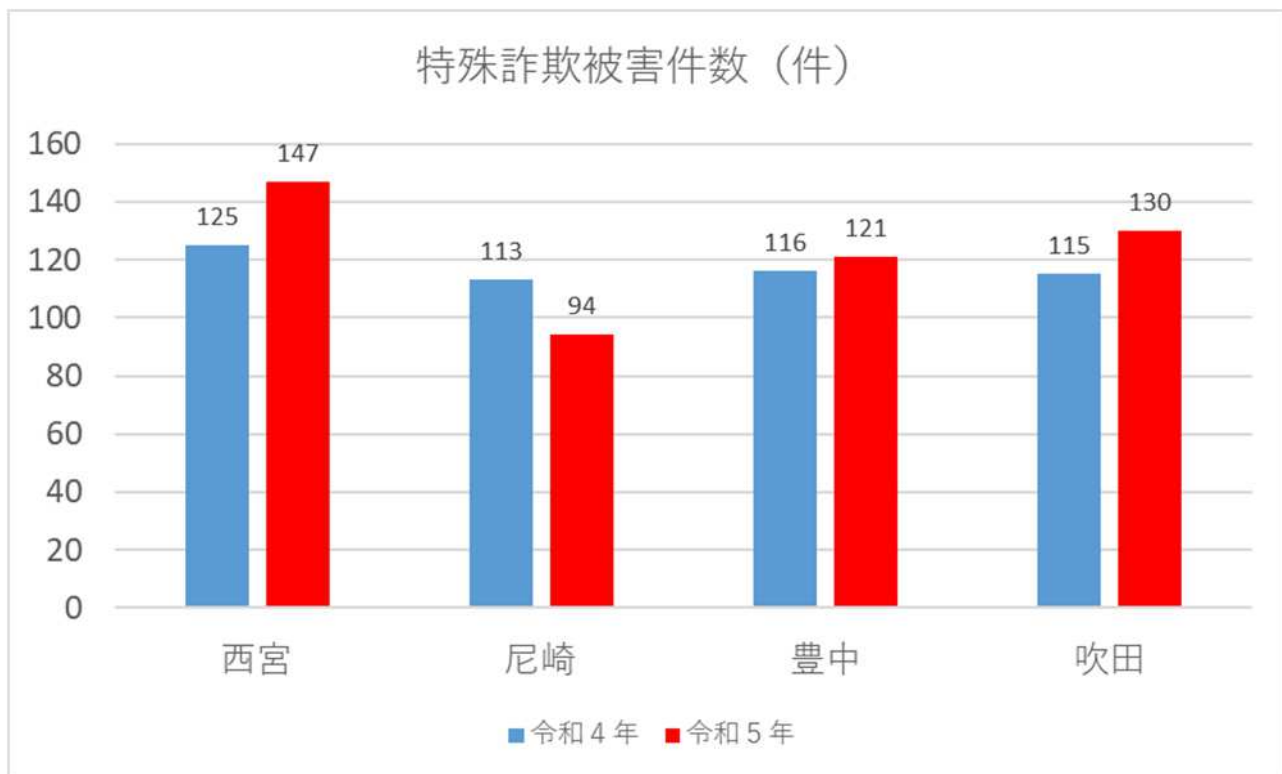
（参考）要望を行う4市は、大都市周辺で連担する中核市であり、各市のアルファベットの頭文字であるNATS圏域は172万人の人口を擁し、府県の枠を超えて行政連携を深めています。

記

- 1 ATM利用に係る年齢や、1日の出金・振込額の制限などの基準を厳格化し、広く公表すること。
- 2 特殊詐欺被害防止対策に関する自治体の取組への積極的な協力を行うこと。

【参考資料】

NATS 4 市の特殊詐欺の発生状況



このような取組を報道していただくことで、特殊詐欺防止に向けた、より強力な啓発につながるものと考えております。報道機関の皆様のお力添えをお願い申し上げます。
また、他市からも同様の内容で報道提供させていただいております。